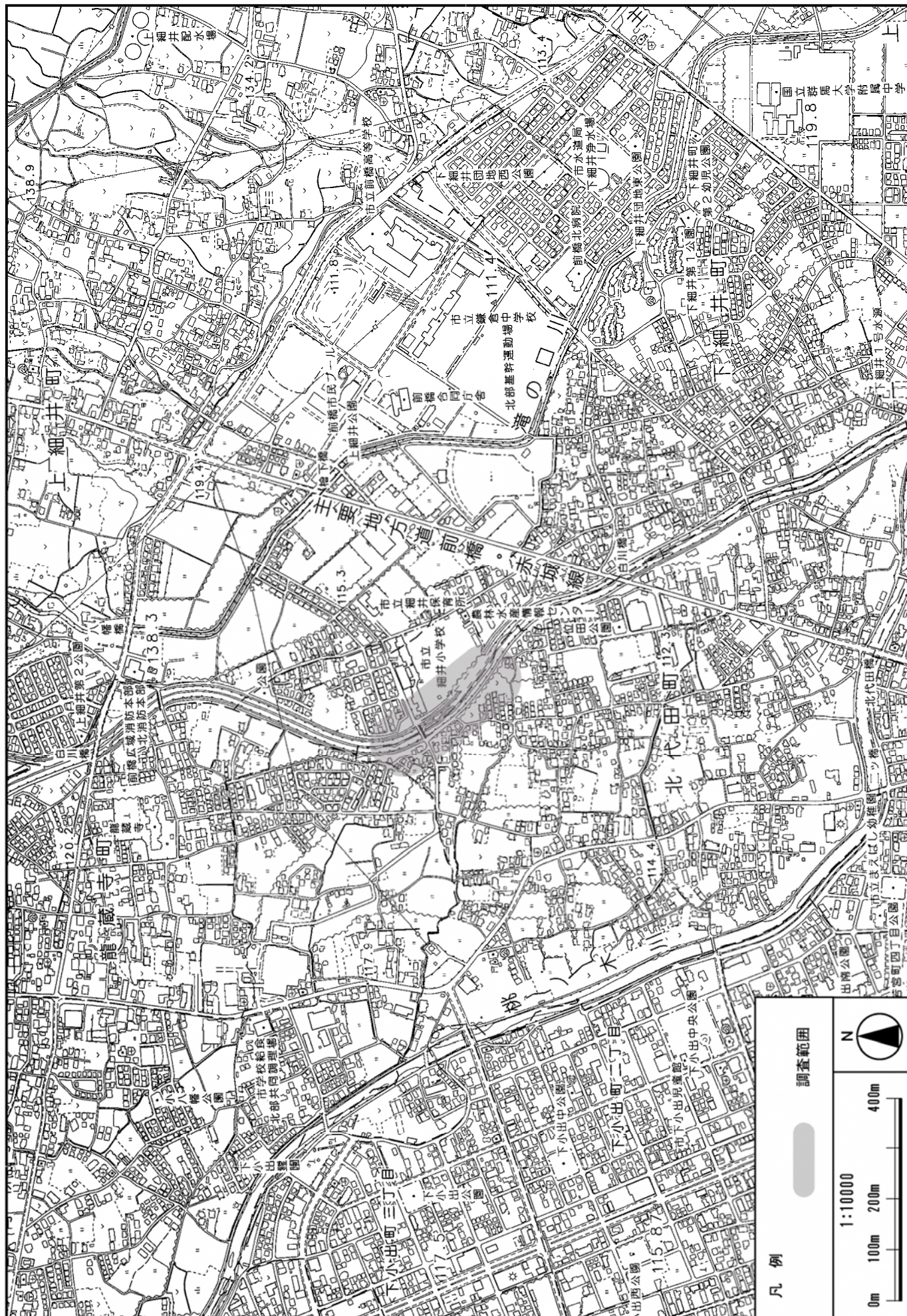


資 料 編

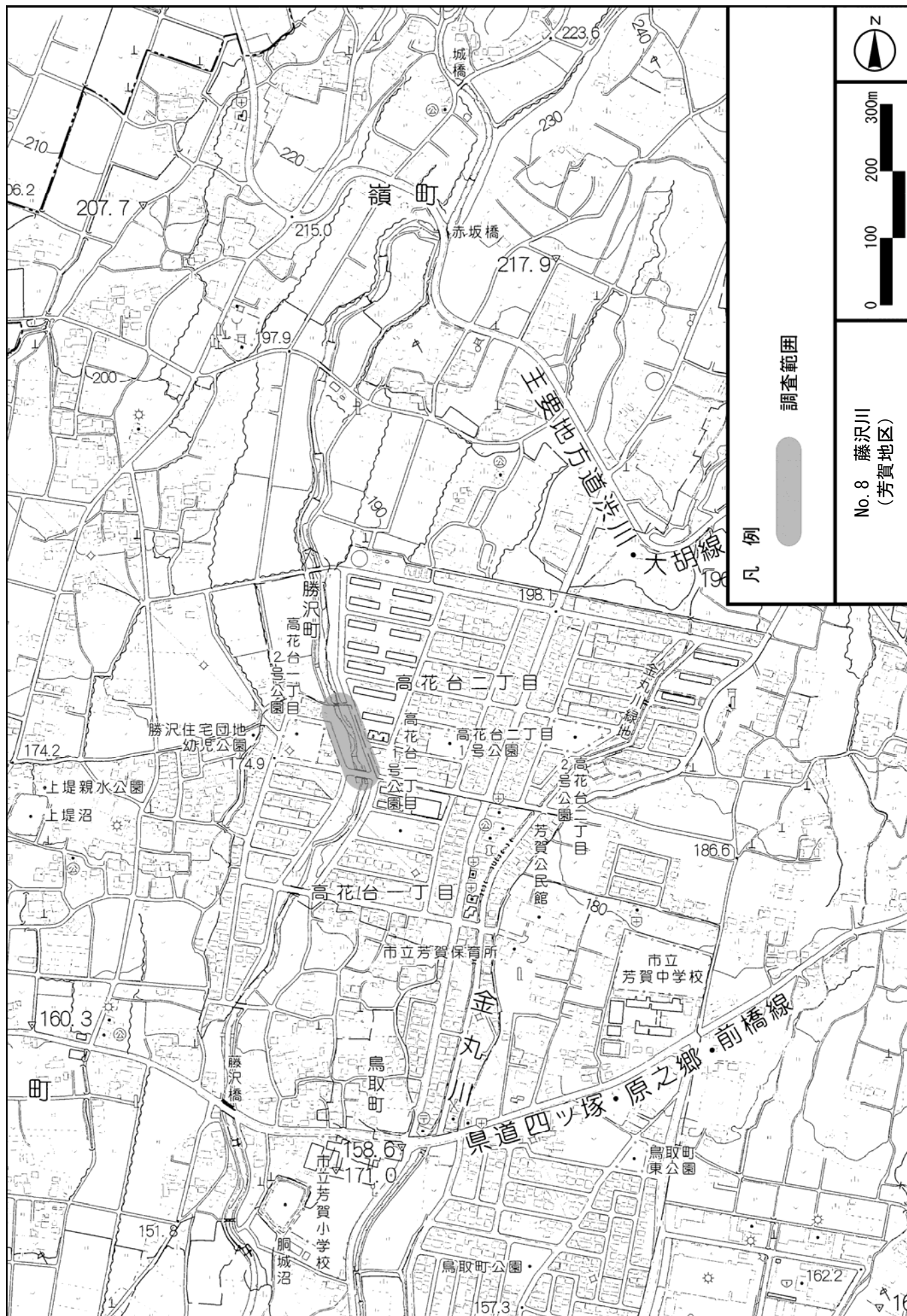
1. 調査地点図	59
2. 確認種一覧	73
3. 経年調査結果	79
4. 生物学の水質判定法	89

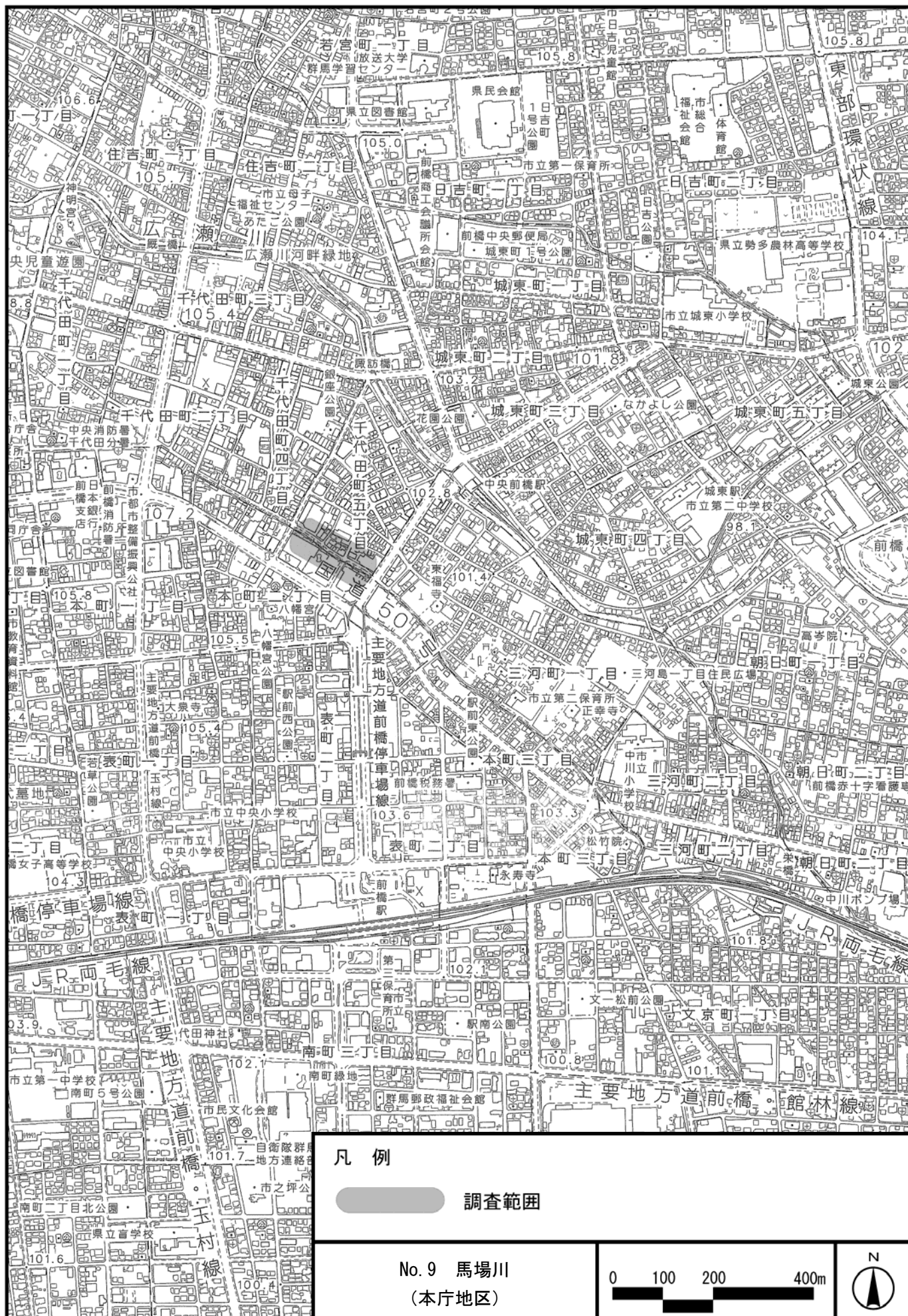
1. 調査地点図

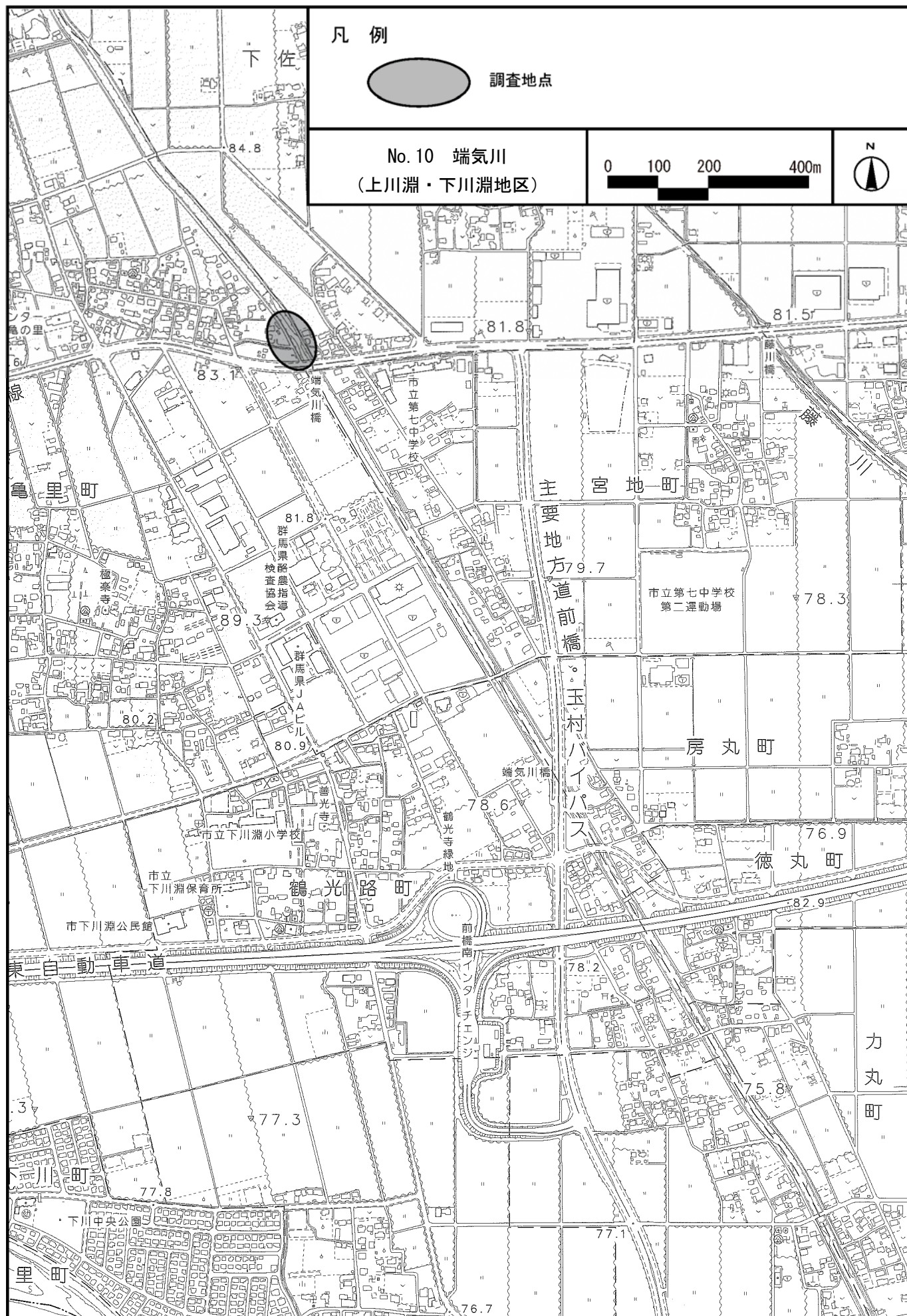


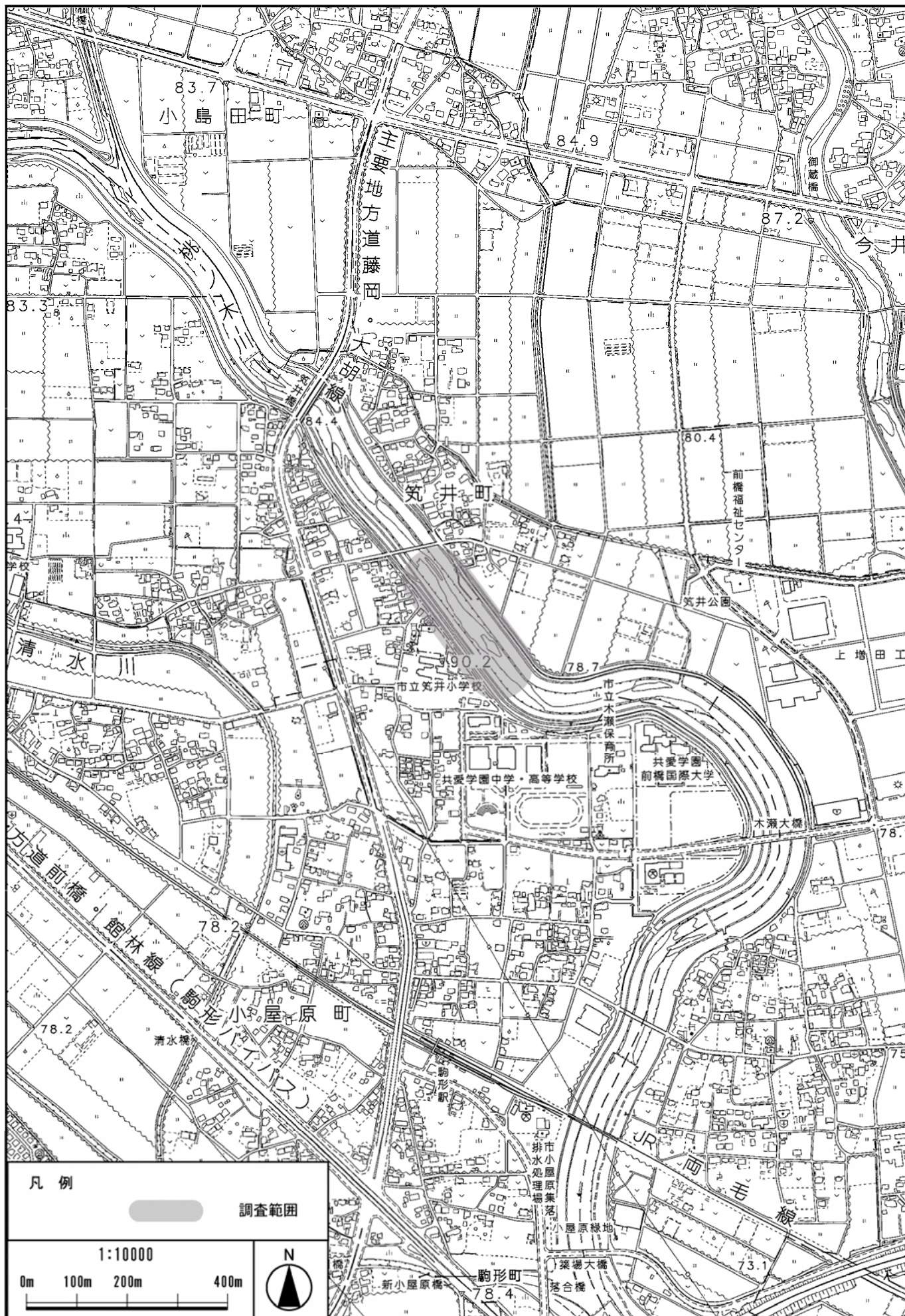


No. 6 赤城白川 (南橋地区)

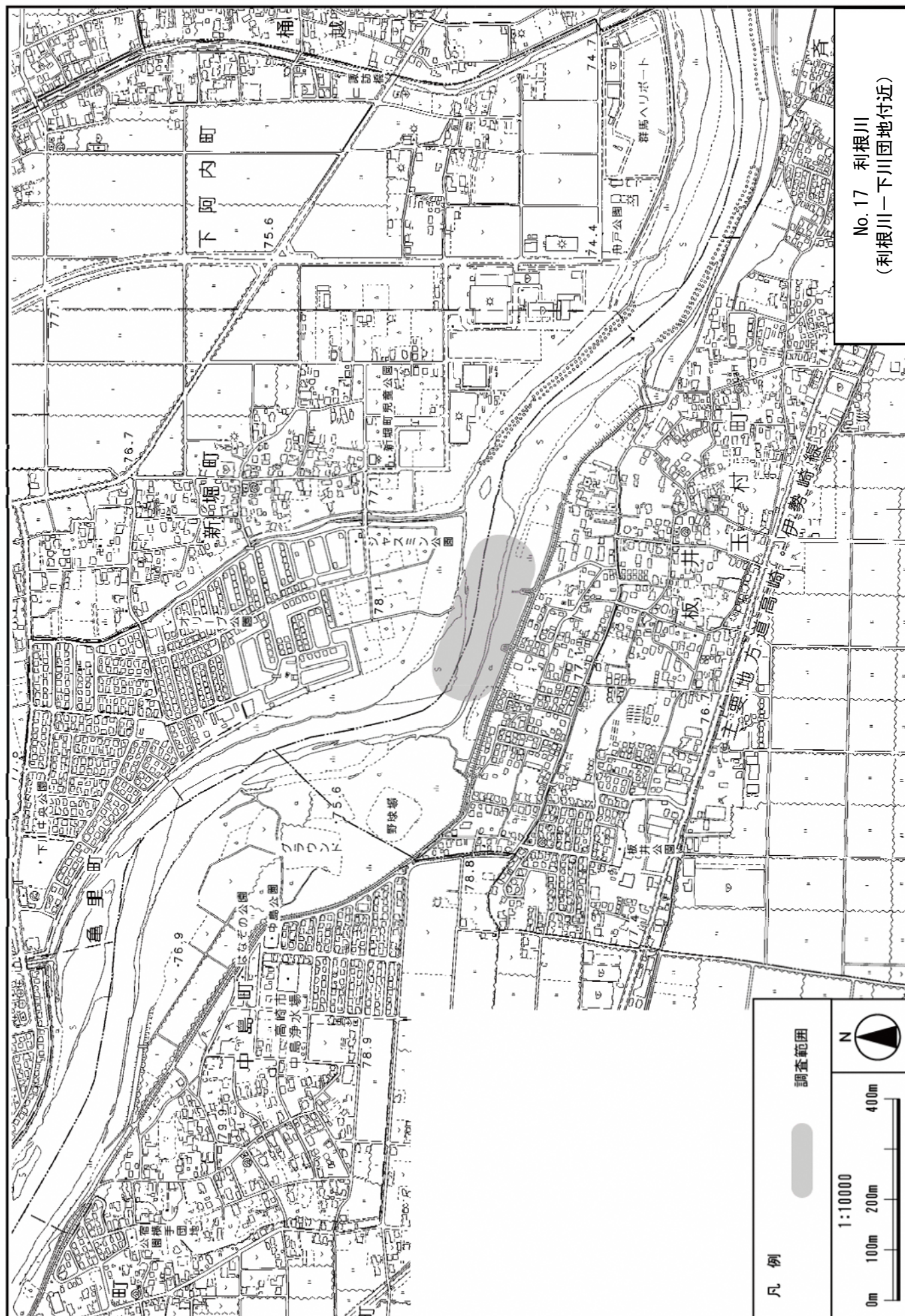








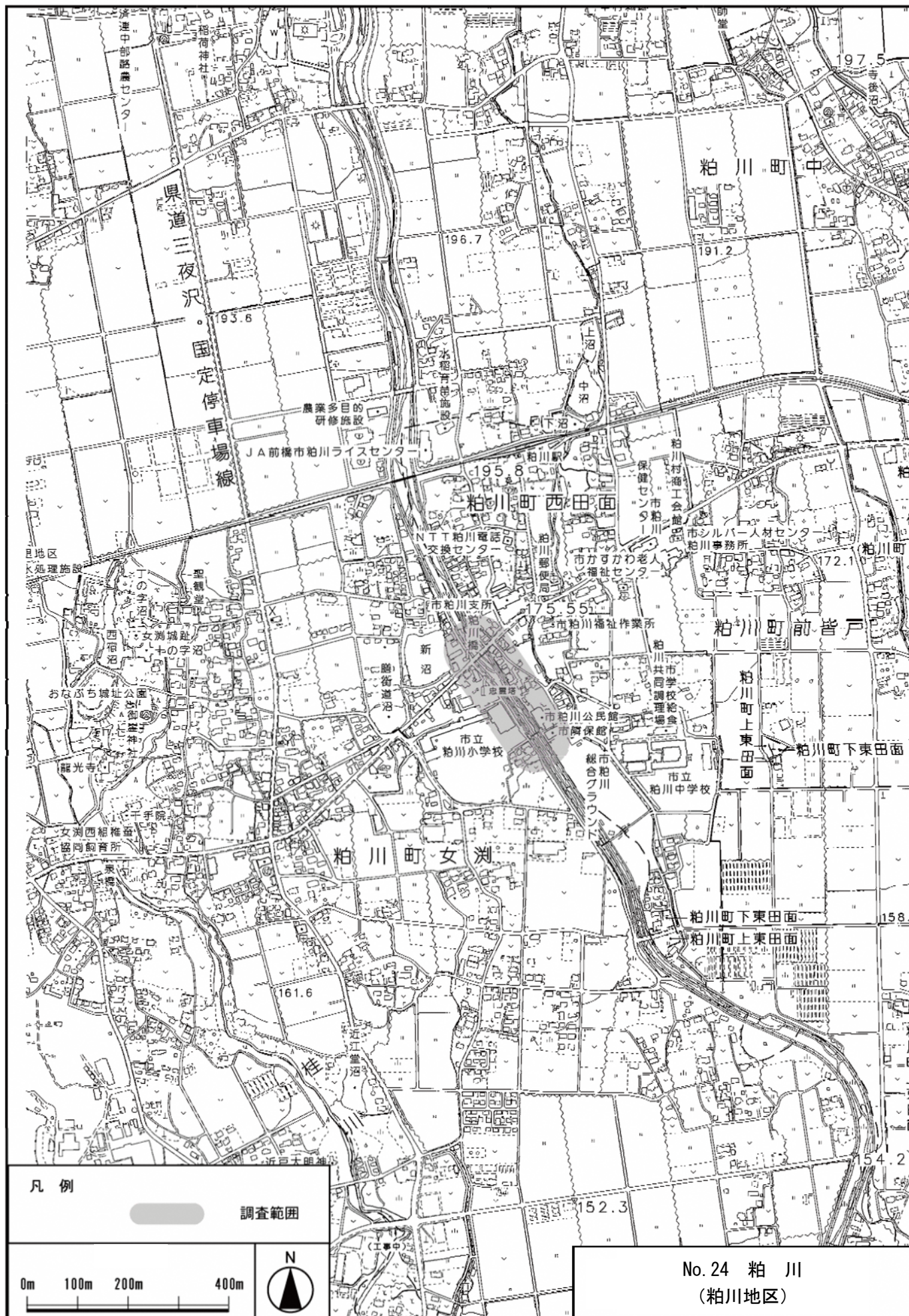
No. 14 桃ノ木川（柱萱・永明・城南地区）

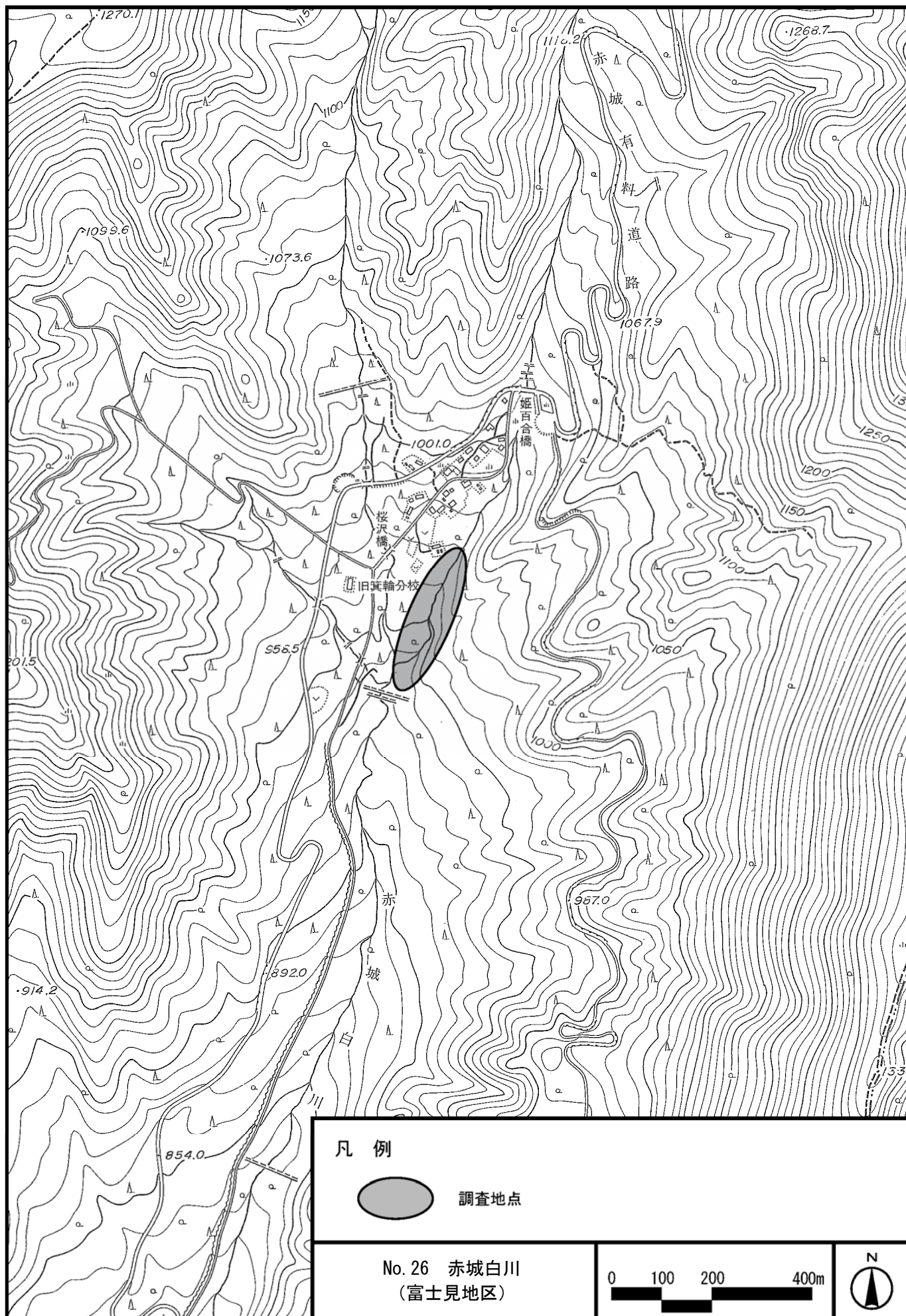


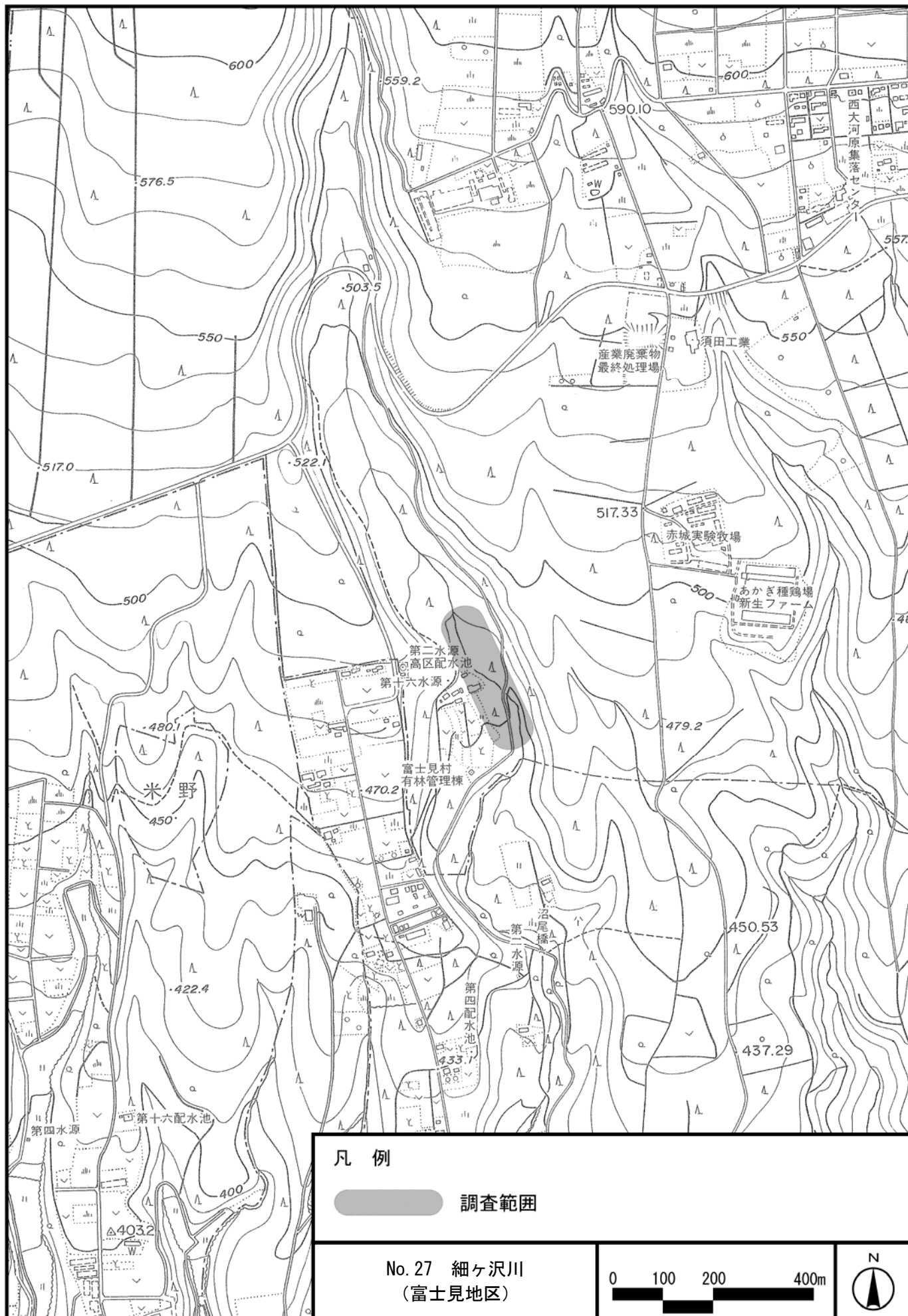




No. 22 荒砥川（宮城地区）







2. 確認種一覧

表 2-1 確認種一覧（魚類）

No.	綱 名	目 名	科 名	種 名	学 名	重要種選定基準 ^{注2)}		外来種選定基準 ^{注3)}	地点・地区名													
						環境省 RL (H29.3)	群馬県 RDB (H24.12)	外来生物法	清里・ 総社	元総 社・東	南橋	芳賀	本庁	上川淵 ・下川淵	桂萱 ・永明 ・城南	利根川・ 下川団地 付近	大胡		宮城	粕川	富士見	
									No. 2 八幡川	No. 4 滝川	No. 6 赤城白川	No. 8 藤沢川	No. 9 馬場川	No. 10 端気川	No. 14 桃ノ木川	No. 17 利根川	No. 18 寺沢川	No. 19 荒砥川	No. 22 荒砥川	No.24 粕川	No.26 赤城白川	No.27 細ヶ沢川
1	頭甲綱	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ	<i>Lethenteron reissneri</i>	VU	EN			4		5										
2	硬骨魚綱	コイ目	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>								1					1	1			
3				オイカワ	<i>Zacco platypus</i>						8				1	8						
4				アブラハヤ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>				3	1	11		1	1	1	20				2		
5				ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>					1			1									
6				モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>				6								30		5			
7				タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>														1			
8				カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>		NT				1				1							
9				ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>								1									
10			ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	DD			6					1	1			3				
11				シマドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>		NT			1	2	4		1	1			3		6		
12				ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	EN	VU					9						5		13		
13		ナマズ目	ギギ科	ギバチ	<i>Pseudobagrus tokiensis</i>	VU	VU		2	1												
14			アカザ科	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>	VU					1											
15		サケ目	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>											1						
16			サケ科	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>	DD	NT														2	
17				ヤマメ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	(NT)	(NT)														4	3
18		スズキ目	ハゼ科	ジュズカケハゼ	<i>Gymnogobius castaneus</i>	EN	VU		2		13							3				
19				クロダハゼ	<i>Rhinogobius kurodai</i>							2				2	300	1	14			
20				ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>											1						
合計	2綱	5目	8科	20種	8種	8種	0種		5種	5種	6種	4種	4種	3種	5種	5種	2種	6種	4種	3種	2種	1種
									19個体	8個体	36個体	20個体	4個体	3個体	5個体	32個体	330個体	16個体	21個体	21個体	6個体	3個体

注1) 種の配列、学名等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成29年度生物リスト）に準拠し、必要に応じて他の文献で補った。

注2) 重要種選定基準

・環境省RL(H29.3)：「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2017の公表について）（環境省報道発表資料、平成29年3月発表）

・群馬県RDB(H24.12)：「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（2012年改訂版）」（群馬県、平成24年12月）

CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

なお、「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に該当する種は確認されなかった。

注3) 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」、「外来種ハンドブック」に該当する種は確認されなかった。

注4) スナヤツメは、環境省版レッドリスト（H29.3）では「スナヤツメ北方種 *Lethenteron* sp. 1」、「スナヤツメ南方種 *Lethenteron* sp. 2」に分かれているが、いずれも絶滅危惧II類である。

注5) イワナは確認された個体の形質からニッコウイワナであると判断した。

注6) ヤマメは、遊漁対象になっている魚種であるため、自然分布の個体が放流された個体かは不明である。このため、ここでは「(NT)」で示した。

注7) ジュズカケハゼは、複数の種群が知られている。重要種の欄には、「ジュズカケハゼ」（環境省RL）及び「ウキゴリ属の1種（ジュズカケハゼ関東型）」（群馬県RDB）の評価を記載した。

表 2-2(1) 確認種一覧（水生生物）

No.	門 名	綱 名	目 名	科 名	種 名	学 名	重要種選定基準 ^{注2)}		外来種選定基準 ^{注3)}	地点・地区名																
							環境省 RL (H29.3)	群馬県 RDB (H24.12)		外来生物法	清里・総社 八幡川	元総社・東 滝川	南橋 赤城白川	芳賀 藤沢川	本庁 馬場川	上川淵・下川淵 端気川	桂萱・永明・城南 桃ノ木川	利根川・下川団地付近 利根川	大胡		宮城 荒砥川	粕川 粕川	富士見			
																			No. 18 寺沢川	No. 19 荒砥川			No.24 粕川	No.26 赤城白川	No.27 細ヶ沢川	
1	扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	<i>Dugesia japonica</i>															1					
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワニナ科	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>				1	19		50	2					1			70				
3			基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>	NT	VU		1																
4				サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>			○	1			3								5					
5			二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea fluminea</i>			その他		11	2	3		2			4			1				
6					マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	VU	DD		1						2			3							
7	環形動物門	ミミズ綱	－	－	ミミズ綱	Oligochaeta					1		1										2			
8		ヒル綱	吻蛭目	グロシフォニ科	グロシフォニ科	Glossiphoniidae										1										
9			無吻蛭目	ヘモビ科	ウマビル	<i>Whitmania pigra</i>													20							
10				イシビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>									1											
－					イシビル科	Erpobdellidae					1	7		1	1	1	1		1	2						
11			節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	－	ヨコエビ目	Amphipoda				1	1		4						1					
12			ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>					2		100		1				1000				1			
13			エビ目	ヌマエビ科	ヌカエビ	<i>Paratya compressa improvisa</i>		NT								8		1								
14					カワリヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> sp.							1						10							
15					テナガエビ科	スジェビ	<i>Palaemon paucidens</i>		NT											500			12			
16					アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>			緊急		1	2			1	1			4			1			
17	昆虫綱		カゲロウ目（蜉蝣目）	サワガニ科	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>						1	1	1		1	1	27	1	4	112	2	1			
18				コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>												1								
－					コカゲロウ属	<i>Baetis</i> sp.											1	1				5		2		
19				ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>			2			1								1			2			
20					ウエノヒラタカゲロウ	<i>Epeorus curvatulus</i>																1		6		
21					エルモンヒラタカゲロウ ^{注3)}	<i>Epeorus latifolium</i>													1					4		
22					ユミモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus nipponicus</i>								1								1		4		
－					ヒラタカゲロウ属	<i>Epeorus</i> sp.																	1			
－					ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae																			2	
23					チラカゲロウ科	チラカゲロウ	<i>Isonychia japonica</i>								100						2		50	500	1	1
24					モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>																		7	
25					マダラカゲロウ科	マダラカゲロウ属	<i>Ephemeraella</i> sp.																	1	1	
26				トンボ目（蜻蛉目）	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>			1					20		3	1						3		
27					ヤンマ科	ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>																			2
28					サナエトンボ科	ミヤマサナエ	<i>Anisogomphus maacki</i>											1								
29						ダビドサナエ属	<i>Davidius</i> sp.					1	21					1			10			8	12	
30						オナガサナエ	<i>Onychogomphus viridicostus</i>			2	1		2			1								3		
31						コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>			1			20		1									4		
－						サナエトンボ科	Gomphidae								1			1				20	3	7	3	3
32						オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>								100					1	3	50		2	3
33						エゾトンボ科	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>						1		2										
34					トンボ科	コフキトンボ	<i>Deielia phaon</i>																			
35						シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>									4		2				3				
－						シオカラトンボ属	<i>Orthetrum</i> sp.									2										
36						ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>																		1	
37	ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>						6			1											1				
38	カワゲラ目（セキ翅目）		オナシカワゲラ科		フサオナシカワゲラ属	<i>Amphinemura</i> sp.													2					1		
39				オナシカワゲラ属	<i>Nemoura</i> sp.															1		1		3		
40				ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	<i>Cryptoperla japonica</i>																	1			
41				カワゲラ科	フタツメカワゲラ属	<i>Neoperla</i> sp.								1												
42					トウゴウカワゲラ属	<i>Togoperla</i> sp.																3	1			
43				アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae																		1		
44	カメムシ目（半翅目）		アメンボ科	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatu</i>							1														
45				アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>			2			2			1	1	1	1	2			30					
46				ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>						1	2					1	1					2			
47				シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>						5	2	1							50		1	1			
－				アメンボ科	Gerridae			1																		
48				イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>										1										
49				カタビロアメンボ科	ナガレカタビロアメンボ	<i>Pseudovelia tibialis</i>									1											
50				ミズギワカメムシ科	ミズギワカメムシ	<i>Saldula saltatoria</i>															15					
51					コオイムシ科	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	NT	DD						1											
52					タイコウチ科	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>											1		2	2			1		
53			ナベブタムシ科	ナベブタムシ	<i>Aphelocheirus vittatus</i>										1											

表 2-2 (2) 確認種一覧（水生生物）

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	重要種選定基準 ^{注2)}		外来種選定基準 ^{注3)}	地点・地区名														
							環境省 RL (H29.3)	群馬県 RDB (H24.12)		清里・総社 八幡川	元総社・東 滝川	南橋 赤城白川	芳賀 藤沢川	本庁 馬場川	上川淵・下川淵 端気川	桂萱・永明・城南 桃ノ木川	利根川・下川団地付近 利根川	大胡		宮城 荒砥川	粕川 荒砥川	粕川 No.24 粕川	富士見	
																		No. 18 寺沢川	No. 19 荒砥川				No. 26 赤城白川	No.27 細ヶ沢川
54	節足動物門	昆虫綱	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ	Parachauliodes continentalis																	1	
55					ヘビトンボ	Protohermes grandis																4	1	
56			トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シマトビケラ属	Hydropsyche sp.				3	7		2	1		12	2			1				
57				ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	Stenopsyche marmorata				1	26	2	1		2	10	1	1		4	50	1		
58				カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	Lepidostoma crassicorne											1							
59					カクツツトビケラ属	Lepidostoma sp.						1										8		
60			ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	ミカドガガンボ属	Holorusia sp.													1					
61					ガガンボ属	Tipula sp.				2	1		2		1		3					2	1	
—					ヒメガガンボ亜科	Limoniinae								1								1		
—					ガガンボ亜科	Tipulinae										1								
62				ユスリカ科	ユスリカ属	Chironomus sp.											1						1	
63					エリユスリカ亜科	Orthocladiinae																1		
64					モンユスリカ亜科	Tanypodinae																3	2	
65					ブユ科	ブユ科	Simuliidae sp.															2	6	
66					ミズアブ科	ミズアブ科	Stratiomyidae																1	
67			コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	ハイイロゲンゴロウ	Eretes griseus									1									
68					コシマゲンゴロウ	Hydaticus grammicus						1	2								1			
69					モンキマメゲンゴロウ	Platambus pictipennis				2							3		2		1	2		
70					ヒメゲンゴロウ	Rhantus suturalis									1			1						
—					ゲンゴロウ科	Dytiscidae						2												
71				ガムシ科	キベリヒラタガムシ	Enochrus japonicus								1			1							
72					キイロヒラタガムシ	Enochrus simulans							1											
73					スジヒメガムシ	Hydrobius pauper Sharp												1					2	
74					マルガムシ	Hydrocassis lacustris						5												
75					コガムシ	Hydrochara affinis	DD			1			1		1			2						
76					マルガムシ亜科	Hydrobiinae												1						
—					ガムシ科	Hydrophilidae							1						1					
77				ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ亜科	Elminae											1							
78				ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	Mataeopsephus japonicus						1			1									
79				ホタル科	ゲンジボタル	Luciola cruciata		NT					1											
合計	4門	7綱	17目	48科	79種		4種	6種	3種	16種 27個体	14種 77個体	11種 19個体	32種 466個体	5種 6個体	17種 23個体	16種 35個体	8種 9個体	16種 559個体	24種 1102個体	12種 171個体	28種 836個体	22種 73個体	16種 30個体	

注1) 種の記列、学名等は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成29年度生物リスト）に準拠し、必要に応じて他の文献で補った。

注2) 重要種選定基準

- ・環境省RL(H29.3)：「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2017の公表について）（環境省報道発表資料、平成29年3月発表）
- ・群馬県RDB(H24.12)：「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（2012年改訂版）」（群馬県、平成24年12月）
- CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

注3) 外来種選定基準

- ・外来生物法：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月公布、法律第78号）
- ・「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成27年3月、環境省）
- 緊急：緊急対策外来種、その他：その他の総合対策外来種
- ：特定外来生物及び要注意外来生物に該当しない外来種

注4) エルモンヒラタカゲロウは、「日本産水生昆虫(川合・谷田 共編、2005)」にマツムラヒラタカゲロウ *Epeorus l-nigrus* との区別点が記述されていないため区別できないが、便宜的に当表記とした。

また、両種とタニヒラタカゲロウ *E. napaesus* は生活史の違いで区別可能だが、形態での区別は困難である。

注5) 確認種数の集計方法について

確認種数の集計方法は、国土交通省による「河川水辺の国勢調査」における集計方法に準拠した。詳細は以下のホームページアドレスで公開されている調査マニュアル（PDF）を参照。

<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankvo/mizukokuweb/svstem/download.htm>

3. 経年調査結果

表 3-1 今回調査地点における確認種の経年比較（魚類）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	重要種選定基準 ^{注3)}					外来種選定基準 ^{注4)}	調査地点																													
						環境省 RL (H15.5)	環境省 RL (H19.8)	環境省 RL (H25.2)	環境省 RL (H29.3)	群馬県 RDB (H14.2)		群馬県 RDB (H24.12)	清里・ 総社	元総社・東	南橋	芳賀	本庁	上川 瀬・下 川瀬	桂置・永明・城南	利根川 下川団地付近	大胡				宮城	粕川			富士見												
																					No. 2	No. 4	No. 6			No. 8	No. 9	No. 10	No. 14			No. 17	No. 18	No. 19	No. 22	No. 24			No. 26	No. 27	
																							八天 幡狗 川岩 用水、	滝 川					赤桃 城ノ 白木 川、	藤 沢 川	馬 広 瀬 川、					端 気 川	桃 ノ 木 川	利 根 川			寺 沢 沢 川沼、
基礎	今回	基礎	第1 回	今回	基礎	第1 回	第2 回	第3 回	今回	基礎	第3 回	今回	基礎	今回	基礎	第1 回	第2 回	第3 回	今回	基礎	第3 回	今回	基礎	今回	基礎	第3 回	今回	基礎	第2 回	今回	基礎	第2 回	第3 回	今回	基礎	今回	基礎	今回			
1	頭甲綱	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ ^{注5)}	<i>Lethenteron reissneri</i>	VU	VU	VU	VU	I類	EN				●	●																									
2	硬骨魚綱	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>		DD	EN	EN		VU																														
3		コイ目	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>																																				
4				ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>			(EN)	(EN)																																
5				ギンブナ	<i>Carassius auratus langsdorffii</i>																																				
6				キンブナ	<i>Carassius auratus subsp. 2</i>		NT	VU	VU	I類	CR																														
7				キンギョ	<i>Carassius auratus auratus</i>																																				
8				タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>																																				
9				オイカワ	<i>Zacco platypus</i>																																				
10				カワムツ	<i>Zacco temminckii</i>																																				
11				アブラハヤ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>						注目																														
12				ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>																																				
13				モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>																																				
14				ムギツク	<i>Pungtungia herzi</i>																																				
15				タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>																																				
16				カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>						注目	NT																													
17			ドジョウ科	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>																																				
18				ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			DD	DD																																
19				シマドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>						準絶	NT																													
20				ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	EN	EN	EN	EN	Ⅱ類	VU																														
21		ナマズ目	ギギ科	ギバチ	<i>Pseudobagrus tokiensis</i>	VU	VU	VU	VU	Ⅱ類	VU																														
22			ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>																																				
23		サケ目	アカザ科	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>	VU	VU	VU	VU	Ⅱ類																															
24			キュウリウオ科	ワカサギ	<i>Hypomesus nipponensis</i>						(EX)																														
25			アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>																																				
26			サケ科	ニッコウイワナ ^{注6)}	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>			DD	DD	地域	NT																														
27				ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i>																																				
28		ダツ目	メダカ科	ヤマメ ^{注7)}	<i>Oncorhynchus masou masou</i>		NT	NT	NT	地域	NT																														
29				メダカ ^{注8)}	<i>Oryzias latipes</i>	VU	VU	VU	VU	I類	CR																														
30		スズキ目	サンフィッシュ科	オオクチバス（ブラックバス）	<i>Micropterus salmoides</i>																																				
31				ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>					準絶	DD																														
32			ハゼ科	ジュスカケハゼ ^{注9)}	<i>Gymnogobius sp.</i>	LP	EN	EN	EN	I類	VU																														
33				トウヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp. OR</i>																																				
34				ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevipinnis</i>																																				
合計	2綱	7目	13科	34種		6	9	12	12	14	13	3	3 8	5 13	10 15	5 15	6 15	8 13	11 15	13 15	6 15	3 5	4 5	4 7	4 6	3 6	9 17	4 17	11 18	5 13	11 16	5 13	0 4	0 4	4 11	8 2	7 3	2 2	0 2	1 1	

注1) 種の配列、種の配列、学名等は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成30年度生物リスト）に準拠し、必要に応じて他の文献で補った。

注2) 凡例

- ：各地点において、今回調査で新たに確認した種。
- ：各地点において、過去の調査で確認したが、今回調査で確認できなかった種。

注3) 重要種選定基準

- ・環境省RL(H18-19)：環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）（環境省報道発表資料、平成18年12月22日・平成19年8月3日、平成19年10月5日修正）
- ・環境省RL(H24.8)：「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（第4次レッドリストの公表について）（環境省報道発表資料、平成24年8月発表）
- ・環境省RL(H25.2)：「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（第4次レッドリストの公表について）（環境省報道発表資料、平成25年2月発表）
- ・環境省RL(H29.3)：「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2017の公表について）（環境省報道発表資料、平成29年4月発表）
- VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- ・群馬県RDB(H14.2)：「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編」（群馬県、平成14年2月）
- I類：絶滅危惧Ⅰ類、Ⅱ類：絶滅危惧Ⅱ類、準絶：準絶滅危惧、注目：注目
- ・群馬県RDB(H24.12)：「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（2012年改訂版）」（群馬県、平成24年12月）
- VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- なお、「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に該当する種は確認されなかった。

注4) 外来種選定基準

- ・外来生物法：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2011年7月1日までの指定種）
- 特定：特定外来生物、要注意：外来生物法における要注意外来生物
- ・「我が国に定着している外来生物のリスト（暫定版）」（平成18年、特定外来生物等専門家会合（第7回）資料）
- ・「外来種ハンドブック」（日本生態学会編集、平成14年）
- ：特定外来生物・要注意外来生物に該当しない外来種

注5) スナヤツメは、環境省版レッドリスト（H25.2）では「スナヤツメ北方種 Lethenteron sp. 1」、「スナヤツメ南方種 Lethenteron sp. 2」に分かれているが、いずれも絶滅危惧Ⅱ類である。

注6) イワナは亜種までの分類研究が進んでいるが、今回確認した個体が自然分布の個体であるかどうか不明なため、ここでは種までの分類にとどめた。

なお、群馬県に自然分布するイワナは亜種ニッコウイワナ（*Salvelinus leucomaenis pluvius*）と考えられるが、ニッコウイワナは環境省版レッドリスト（H25.2）で「情報不足（DD）」に、群馬県レッドデータブック（H24.12）で「準絶滅危惧（NT）」に選定されている。

注7) ヤマメは、遊漁対象になっている魚種であるため、自然分布の個体が放流された個体かは不明である。このため、ここでは「(NT)」、「▲」で示した。

注8) メダカは、群馬県レッドデータブックによると「県内の地域集団は、南日本集団に属する」とされている。

注9) ジュスカケハゼは、複数の族群が知られている。重要種の欄には、「ジュスカケハゼ」（環境省RL）及び「ウキゴリ属の2種（ジュスカケハゼ関東型）」（群馬県RDB）の評価を記載した。

表 3-2(1) 今回調査地点における確認種の経年比較（水生生物）

[illegible]

表 3-2(2) 今回調査地点における確認種の経年比較（水生生物）

No.	門 名	綱 名	目 名	科 名	種 名	学 名	重要種選定基準 ^(注3)					外来種選定基準 ^(注4)	調査地点																				
							環境省 RL (H18-19)	環境省 RL (H24.8)	環境省 RL (H29.3)	群馬県 RDB (H14.2)	群馬県 RDB (H24.12)		清里・ 総社	元総社・東 澁川	南橋			芳賀	本庁	上川 淵・下 川淵	桂萱・永明・城南			利根川・ 下川団地付近			大胡		宮城	粕川	富士見		
													No.2 八幡 岩用水、	No.4 澁川	No.6 赤 城ノ 白木川、			No.8 藤 沢川		No.9 馬 場川	No.10 端 気川	No.14 桃 ノ 木 川			No.17 利 根川			No.18 寺 沢川沿	No.19 千 荒 砥 沼川	荒 砥川	粕 川	No.26 赤 城 白 川	No.27 細 ヶ 沢 川
							基礎	今回	基礎	第1回	今回	基礎	第1回	第2回	第3回	今回	基礎	第3回	今回	基礎	今回	基礎	第1回	第2回	第3回	今回	基礎	第2回	第3回	今回	基礎	第2回	今回
56	節足動物門	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	アオイトトンボ科	アオイトトンボ科	<i>Lestidae</i>																											
57				カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>																											
58					ミヤマカワトンボ	<i>Calopteryx cornelia</i>																											
59					アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>																											
—					カワトンボ属	<i>Mnais sp.</i>																											
60				ヤンマ科	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>																											
61					ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>																											
62				サナエトンボ科	ミヤマサナエ	<i>Anisogomphus maacki</i>																											
63					クロサナエ	<i>Davidius fujiana</i>																											
64					ダビドサナエ	<i>Davidius nanus</i>																											
—					ダビドサナエ属	<i>Davidius sp.</i>																											
65					ホンサナエ	<i>Gomphus postocularis</i>																											
66					オナガサナエ	<i>Onychogomphus viridicostus</i>																											
67					コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>																											
—					サナエトンボ科	<i>Gomphidae</i>																											
68				オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>																											
69				エソトンボ科	オオヤマトンボ	<i>Epophthalmia elegans</i>																											
70					コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>																											
71					タカネトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i>																											
72				トンボ科	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>																											
—					シオカラトンボ属	<i>Orthetrum sp.</i>																											
73					ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>																											
74					アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>																											
75					ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>																											
76			カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属	<i>Amphinemura sp.</i>																											
77					オナシカワゲラ属	<i>Nemoura sp.</i>																											
78				ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	<i>Cryptoperla japonica</i>																											
79				シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	<i>Taeniopterygidae</i>																											
80				ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	<i>Chloroperlidae</i>																											
81				カワゲラ科	Xanthoneuria属	<i>Xanthoneuria sp.</i>																											
82					クロヒゲカワゲラ	<i>Kamimuria quadrata</i>																											
—					カミムラカワゲラ属	<i>Kamimuria sp.</i>																											
83					ナガカワゲラ属	<i>Kiotina sp.</i>																											
84					フタツメカワゲラ属	<i>Neoperla sp.</i>																											
85					クラカケカワゲラ属	<i>Paragnetina sp.</i>																											
86					トウゴウカワゲラ属	<i>Togoperla sp.</i>																											
—					カワゲラ科	<i>Perlidae</i>																											
87				アミメカワゲラ科	コグサヒメカワゲラ属	<i>Ostrovus sp.</i>																											
—					アミメカワゲラ科	<i>Perlodidae</i>																											
88			カメムシ目（半翅目）	アメンボ科	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>																											
89					アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>																											
90					ヒメアメンボ	<i>Gerris latiaabdominis</i>																											
—					ヒメアメンボ属	<i>Gerris sp.</i>																											
91					シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>																											
—					アメンボ科	<i>Gerridae</i>																											
92				イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>																											
93				カタビロアメンボ科	ナガレカタビロアメンボ	<i>Pseudovelox tibialis</i>																											
94					カタビロアメンボ科	<i>Velidae</i>																											
95					Mesovelox属	<i>Mesovelox sp.</i>																											

表 3-2(3) 今回調査地点における確認種の経年比較（水生生物）

[illegible]

4. 生物学的水質判定法

水生生物を使ってその場所の水質を判断する方法はいくつかあるが、今回の調査では「川の生きものを調べよう」（環境省・国土交通省編）で使用している方法を用いて、各調査地点における水質の判定を試みた。

1) 「川の生きものを調べよう」による評価手法

「川の生きものを調べよう」（環境省・国土交通省編）では、水質をⅠ～Ⅳの4つに区分し、水質階級ごとに指標生物を設定している。指標生物は、表4-1に示すとおりである。

表4-1 水質階級と指標生物の関係（平成24年3月以降）

水質階級	種類数	指標生物
Ⅰ きれいな水	10種類	アミカ類、ナミウズムシ、カワゲラ類、サワガニ、ナガレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ブユ類、ヘビトンボ、ヤマトビケラ類、ヨコエビ類
Ⅱ ややきれいな水	8種類	イシマキガイ※、オオシマトビケラ、カワニナ類、ゲンジボタル、コオニヤンマ、コガタシマトビケラ類、ヒラタドROMシ類、ヤマトシジミ※
Ⅲ きたない水	6種類	イソコツブムシ類※、ニホンドロソコエビ※、タニシ類、シマイシビル、ミズカマキリ、ミズムシ
Ⅳ とてもきたない水	5種類	アメリカザリガニ、エラミミズ、サカマキガイ、ユスリカ類、チョウバエ類

注)「※」のついた4種は、海水の少し混ざる汽水域の生物であり、本市には分布しない。

判定方法は以下に示すとおりである。

◎判定方法

- ・調査地点で確認された指標生物を抽出する（○印）。
- ・確認された指標生物のうち、個体数が多い上位2種を抽出する（●印）。なお、3種類の指標生物がほぼ同じ個体数だった場合、3種類まで抽出する。
- ・確認された指標生物（○印）及び個体数が多い上位2種（または3種。●印のみ）の個数の合計を、水質階級ごとに計算し、合計の最も大きい水質階級を、調査地点の水質階級と判定する。
- ・2つの水質階級が同じ数字になった場合は、数字の少ない方の水質階級を調査地点の水質階級と判定する。

川の生きものを調べよう

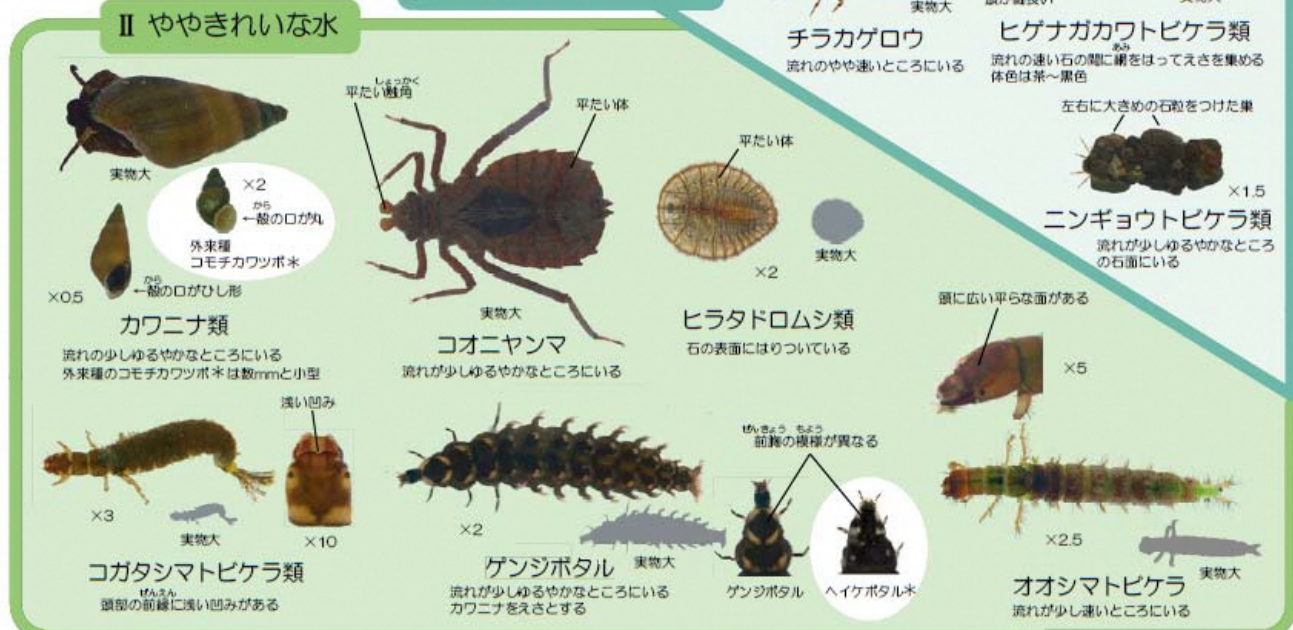
水生生物による水質判定

I きれいな水



I, II 両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

II ややきれいな水



*のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

平成23年版

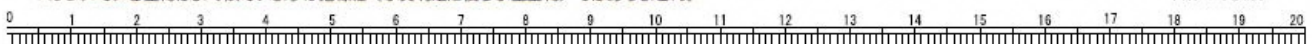


図 4-1 「川の生きものを調べよう」（新版）の下敷き（おもて）

Ⅲ きたない水



Ⅳ とてもきたない水



汽水域(海水が混じっているところ)

Ⅱ ややきれいな水



Ⅲ きたない水



*のついている生物はよく似ていますが皆標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

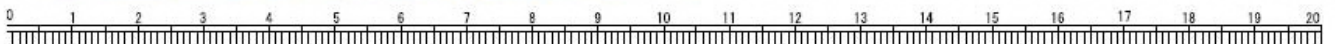


図 4-2 「川の生きものを調べよう」(新版)の下敷き(うら)

前橋市自然環境調査(魚類・水生生物)報告書

平成30年3月

発 行	前橋市 〒371-8601 群馬県前橋市大手町二丁目12番1号 電話 027-224-1111
調査委託	株式会社ポリテック・エイディディ 〒105-0014 東京都中央区新富1-18-8 RBM築地スクエア3F 電話 03-6222-8914

この報告書は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。